

## 事業継承についてのご報告

お疲れ様です。株式会社リンク・トラストは2002年4月の創業以来、多くの事業主様、販売会社様、設計事務所様に恵まれ、また、その大切な皆様のご期待に応えることが出来る協力会社様、社員にも恵まれてきました。時には、大きな難局もありましたが、良くも悪くもその後にはその全てを良き縁とすることが出来ました。その結果として21年間で430棟以上のマンション、テナントビル、ホテル等の建築案件を手掛け、大きく成長することが出来ました。一方、予想以上に事業規模が大きくなってしまった事で、社会、業界での責任、迎えた社員一人ひとりへの責任、作った建物への責任、協力会社への責任について常に重く感じており、それがそのまま次期事業継承者への大きな負担であることも強く認識してきました。そして、事業継承について、ここ数年に渡って金融機関とも相談しながら、上場、M&A等も検討してきましたが、この度、次世代の経営陣へMBOを実施することに決定いたしました。

私たちが創業時に掲げた「建築業は所長業」「夢・目標を持ち続ける」「顧客と価値、利益を共有する」「顧客要望に即断・即決・臨機応変に対応する」という当社経営理念が社会、業界に受け入れられた結果として現状の弊社があると私たちは考えておりますので、その理念を継続するためには、それに馴染んで理解している社員から次期経営者を選定することが、極めて自然で合理的であるとして、全社員の中から6人を選び、高旗、伊藤は議決株のみを保有し、その他全ての株式を彼らに譲渡することとしました。そして、山近良輔を三代目代表に選んだのは、その重い責任を背負うことに覚悟を持って唯一人手を挙げたこと、また、個性的な弊社社員、言い方を変えれば曲者揃いの仲間と繋がる事が出来るのは彼であろうと思いました。加えて、将来的な人間力向上の可能性を高旗、伊藤共に感じており、更に安定・成長・継続するため、他の役員・社員が彼を担ぐ組織（バランスの良いリーダーが個性的で能力ある人たちを纏める）であることが理想的だと判断したからです。

ただし、「建築屋として普通のことを普通にやる、嘘を付かない、裏切らない、騙さない、」を基本的な判断基準とし、「知識・個性・問題解決能力」をリーダーの条件としてきた当社ですが、現状では、6人共が、まだまだ私たちが満足するには至らぬことが時々発覚して、全くもって物足りないので、たちまちは高旗、伊藤ともに並走・伴走して現状の体制のままに経営・運営していきます。

また、今回の事業継承の方法は更に次々世代の事業継承の際にも採用します。社員への資格支援制度等で多く育ってきている女性所長候補、外国籍の技術職、外国籍の所長候補も含め社員全員が自身の人間力を高め、施工管理能力、事務能力を上げることで同等に当社の株主となるチャンスが近い将来にありますので、独立志向の人達への離職予防対策、自分の会

社意識の向上、OPEN に同じベクトルの夢・目標を語れる、自分で稼いで自分で使うイメージが持てる……等のプラス効果にも期待しています。

そして、当社は将来に向けても、顧客・関係者・社員から「リンク・トラストに入社してよかった、発注して良かった、仕事してよかった、連るんで良かった」と常に思ってもらえる「使い勝手の良い建築屋」を意識して、社会・業界・地域の役に立ち、近隣の皆様に納得してもらい、しっかり税金を納めて、協力会社と共存共生し、社員全員に誇りを持ってもらえる会社であることを継続的な目標としてまいります。

結びに、大切な…事業主様、販売会社様、設計事務所様、協力会社様、関係者の皆様、社員の皆様、今、HP をご覧頂いている各社様、皆様のご健勝、ご多幸、ご繁栄を祈念いたしまして事業継承についての報告とさせていただきます。

追記：社員一同、今後も下記行動指針を意識して業務に励みます。

#### リンク・トラスト行動指針（2002.04.10）

- 一、現場を知る、現実を知る、現物を知る。
- 二、約束は絶対に守る、うそはつかない、ごまかさない。
- 三、死に銭は使わない、生きた銭を使う。
- 四、「YES」「NO」をはっきり伝える。
- 五、相手の気持ちになって考える。
- 六、常に優先順位を付けて仕事をする。
- 七、先行逃げ切り型である。
- 八、最後の詰めに全力を尽くす。
- 九、相手にも自分にも期限を設ける。
- 十、自分の守備範囲を自分で決めない。
- 十一、自分が会社のために何が出来るか考える。
- 十二、自分の存在価値を考える。

2023年12月吉日

株式会社リンク・トラスト  
代表取締役 高旗通博